

【可視光レーザー応用技術専門委員会】

第4回委員会

1. 日時 2025年6月27日
2. 場所 大阪大学レーザー科学研究所
3. 内容

2件の講演と新規アプリに関する議論があった。最初に柘井慎吾委員(日亜化学)より、可視光半導体レーザーの開発動向の紹介があった。続いて松尾浩一委員(岩崎電気(株))より、次世代照明の現状について述べられた。新規アプリに関する議論を座長石野正人委員(大阪大学)として、参加者全員で行った。可視光半導体レーザーを用いた新規アプリケーションに関して研究開発の方向性が得られた。

4. 参加人数 39名

第5回委員会

1. 日時 2025年11月19日
2. 場所 大阪大学レーザー科学研究所
3. 内容

話題提供として、ロボットフォトンクス関係、可視光レーザー関係の講演があり、議論を行った。今回は、レーザー学会ロボットフォトンクス専門委員会、可視光半導体レーザー応用コンソーシアム新規アプリ委員会との合同会合であった。全体で4件の講演があり、また合同懇親会開催も実施した。講演は『大阪・関西万博における自己位置推定センサの有効性』 嶋地 直広委員(北陽電機株式会社)、『光を賢く使う:分光設計による視認性最適化』 石井 通友委員(ナルックス株式会社)、『スマート農業 -レーザー害虫駆除-』 藤 寛委員(大阪大学)、『ドローンレーザー屋外実証実験 -万博、京都から常総まで-』 石野 正人委員(大阪大学)であり、活発な議論が行われた。

4. 参加人数 40名

第6回委員会

1. 日時 2026年2月27日
2. 場所 大阪大学からのオンライン
3. 内容

現状の応用を把握するための紹介トーク 2 件の後、議論を行った。可視光レーザーはディスプレイ、照明だけでなく他の分野への広がりについて議論した。農業、ロボット(ドローン)分野などで開発が進んでおり、技術の拡がりが見られた。

4. 参加人数 35名

(主査 山本 和久)